

一般社団法人日本駆け込み寺について

現在の日本社会では、様々な問題を抱えて人生の中で立ち止まっている人がたくさんいます。もちろん、問題の相談窓口はありますが、「よろず相談」を謳ったところはほとんどありません。また、家族間の問題であれば、民事不介入によって、事件にならない限り公的機関はなかなか介入できません。

NPO法人 新宿歌舞伎町駆け込み寺（玄秀盛代表）は、歌舞伎町で9年間にわたり、家庭内暴力、引きこもり、刑務所出所者の再起など、いかなる問題であろうと、被害者であろうと、加害者であろうと分け隔てなく苦しむ人々は何人でも受け入れるという姿勢のもと、相談者の悩みを傾聴し、寄り添い、生きる気力を引き出してもらえるような活動を行ってきました。

北海道や九州、沖縄などからも苦悩を抱えた相談者が駆け込んで来ることから、全国の繁華街や歓楽街で同じような活動を展開したいと考え、昨年7月、NPOの活動を停止し、日本財団とともに一般社団法人日本駆け込み寺を設立しました。その後、玄代表の半生がテレビドラマ化されるなどして知名度が高まり、相談件数は増加し続けています。近い将来、公益社団法人格を取得し、多くの人たちのご協力とご支援のもと、駆け込み寺の活動を全国展開していく予定です。

この度、日本駆け込み寺設立の日（2011年7月7日）に合わせて、同じ日付の7月7日に、初の支部である仙台国分町駆け込み寺を開設することとなりました。

「たった一人を救う」をモットーに、一人一人の命を大切に育み、人々の自立を支援する活動を全国に広げ、一人でも多くの方が人生の歩みを止めることなく愉しめるような社会の実現を目指します。

【代表 玄秀盛(げんひでもり) プロフィール】

1956年、大阪市西成区生まれ。在日韓国人として生をうけ、“4人の母”と“4人の父”のもとを転々として育つ。中学卒業後、自動車修理工を皮切りにすし職人、トラック運転手、葬儀屋、キャバレーの店長など28の業種に及ぶ職業を経験した後、建設、不動産、金融、調査業など10社あまりを起業する。また、33歳で酒井大阿闍梨のもとで得度するなど特異で壮絶な人生をくぐりぬけてきた。2000年の献血の際、白血病の原因ウイルスに感染していることが判明したのを機に、それまでの人生を180度転換、世のため人のために全てを捧げる。